

少年の塔 周辺整備作業



6月17日（土）、伊那公園東大社横にある「少年の塔」周辺の整備作業が行われました。

午前7時、代議員・教育会常任委員・幹事のみなさんが集まり、矢澤会長から少年の塔についての話を聞いて、作業に入りました。天候に恵まれ、40分程で終了できました。塔が磨かれ、周辺の草刈りや木の剪定が丁寧に行われ、大変きれいになりました。

夏の慰霊祭に向けて、これから準備を進めて参ります。8月4日（金）には夏の整備作業を行います。

少年の塔慰霊祭

- 1 日時 8月5日（土）8：00～8：30
- 2 場所 伊那公園 少年の塔の前（伊那公園東大社横）

少年の塔について

【解説】（平成22年10月に設置された塔の前にある説明板より引用）

太平洋戦争中、満洲（現在の中国東北部）を開拓して我が国の食糧不足を補い、併せて満洲の治安維持を図るという国の政策に添って、全国で満蒙開拓青少年義勇軍が10代（15才以上）の少年によって編成され、上伊那からの参加者は500～600名にも及んだ。

茨城県内原訓練所での研修を終えてそれぞれの地に入植し満洲の開発を目指した少年達は、祖国のために尽くそうとする純粋な気持で不眠不休の努力を続け激動に堪えて来たのであるが、そのうち91名は不幸にして祖国の平和を願いながら異郷の地で帰らぬ人となった。

また国策により学業を休み厳しい勤労に動員された学徒たちも含め、若くして散っていった上伊那郡下に於ける物故者の霊を慰め、永遠の平和を祈念するため、上伊那の市町村会を始め、上伊那教育会他各種団体の協力により、伊那谷の生んだ芸術家、瀬戸団治先生の大作「鋤を持ち彼方大陸より望郷の念にふける少年の像」を昭和36年4月、ここに建立した。

上伊那満猛開拓青少年義勇軍
並 動員学徒遺族会

